

# 外来化学療法における 栄養指導の取り組み

埼玉メディカルセンター  
栄養管理室 細田 梢



JCHO  
(ジェイコー)

独立行政法人

地域医療機能推進機構

# 利益相反開示

本発表に関連し、開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。

# 令和2年度 診療報酬改定

## 外来がん化学療法の質向上のための総合的な取組

### 質の高い外来がん化学療法の評価

#### (新)連携充実加算 150点(月1回)

- 患者にレジム(治療内容)を提供し、患者の状態を踏まえた必要な指導を行うとともに、地域の薬局薬剤師を対象とした研修会の実施等の連携体制を整備している場合の評価を新設。

### 外来栄養食事指導料の評価の見直し

- 外来化学療法の患者は、副作用による体調不良により、栄養食事指導を計画的に実施することができないことから、患者個々の状況に合わせたきめ細やかな栄養管理が継続的に実施できるよう、  
外来栄養食事指導料について、要件を見直す。

# 令和4年度 診療報酬改定

## 外来化学療法に係る栄養管理の充実

### 外来栄養食事指導料の見直し

▶ 外来化学療法を実施するがん患者の治療において、専門的な知識を有する管理栄養士が患者の状態に応じた質の高い指導を実施した場合について、新たな評価を行う。

#### 現行

【外来栄養食事指導料】  
イ 外来栄養食事指導料<sup>1</sup>

【算定要件】  
(新設)

【施設基準】  
(新設)



#### 改正後

【外来栄養食事指導料】  
【算定要件】

注3 別に厚生労働大臣が定め施設基準にて適合しているものとして地方厚生局長等に届け出た保険医療機関において、**外来化学療法を実施している悪性腫瘍の患者**に対して、医師の指示に基づき、当該保険医療機関の専門的な知識を有する管理栄養士が具体的な献立等によって指導を行った場合に限り、**月1回に限り260点**を算定する。

【留意事項】

専門的な知識を有した管理栄養士が医師の指示に基づき、外来化学療法を実施している悪性腫瘍の患者ごとにその生活条件、し好を勘案した食事計画案等を必要に応じて交付し、療養のため必要な指導を行った場合に算定する。

【施設基準】

(1) 悪性腫瘍の栄養管理に関する研修を終了し、かつ、栄養管理(悪性腫瘍患者に対するものを含む。)に係る3年以上の経験を有する専任の常勤の管理栄養士が配置されていること。

# 栄養指導の流れ

## 化学療法の決定



早期に介入が必要な場合、  
治療開始前



通常の場合、  
初回もしくは2回目



次回以降  
副作用チェックシートより抽出



# 初回指導 - SGA

<p>1. 体重</p> <p>現在の体重            kg</p> <p>2週間の体重   <input type="checkbox"/>減少   <input type="checkbox"/>変化なし   <input type="checkbox"/>増加</p> <p>1ヶ月前の体重        kg</p> <p>6ヶ月前の体重        kg</p>	<p>2. 食事の摂取(この1カ月間)</p> <p><input type="checkbox"/>変化なし</p> <p><input type="checkbox"/>普段より多い</p> <p><input type="checkbox"/>普段より少ない</p>
<p>3. 食事量が少ない原因</p> <p>(食欲不振、嘔気、嘔吐、便秘、下痢、 口内炎、口渇、味覚障害、嗅覚異常、 飲み込みにくい、満腹感、倦怠感、疼痛)</p> <p>朝・昼・夕・間食の内容</p>	<p>4. 活動(この1ヶ月間)</p> <p><input type="checkbox"/>普通に生活</p> <p><input type="checkbox"/>起き上がっておおむね普通に近い生活</p> <p><input type="checkbox"/>ベッドや布団、椅子で過ごすのは半分以下</p> <p><input type="checkbox"/>1日の大半をベッドや布団、椅子で過ごしていた</p> <p><input type="checkbox"/>ベッドや布団から出ることはまれだった</p>

# 栄養指導の流れ

【項目】  
 食欲不振  
 悪心  
 嘔吐  
 口内炎  
 味覚障害  
 下痢  
 便秘

ID: \_\_\_\_\_ 患者名: \_\_\_\_\_ ❖ 副作用チェックシート ❖ 受付提出日 \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日

治療中のあなたの体調・状況を教えてください。  
 該当する項目を○選択して下さい。 次回、外来受診時に受付にお渡し下さい。 受診時の体温 \_\_\_\_\_ °C  
 他の医療機関(病院・診療所・薬局)に行った際は、化学療法シートと一緒にお願いします。 受診時の体重 \_\_\_\_\_ kg

[全身状態]

<input type="checkbox"/> 0	<input type="checkbox"/> 1	<input type="checkbox"/> 2	<input type="checkbox"/> 3	<input type="checkbox"/> 4
全く問題なく活動できる。発病前と同じ日常生活が制限なく行える。	肉体的に激しい活動は制限されるが、歩行可能で、軽作業や座っての作業は行うことができる。	歩行可能で自分の身の回りのことはすべて可能だが作業はできず、日中の50%以上はベッド上で過ごす。	限られた自分の身の回りのことは50%以上をベッド上で過ごす。	全く動けない。自分の身の回りのことは全くできない。完全にベッドか椅子で過ごす。

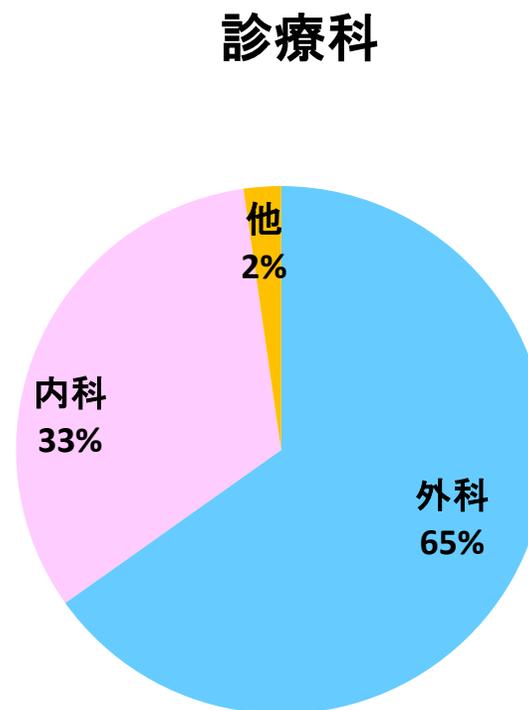
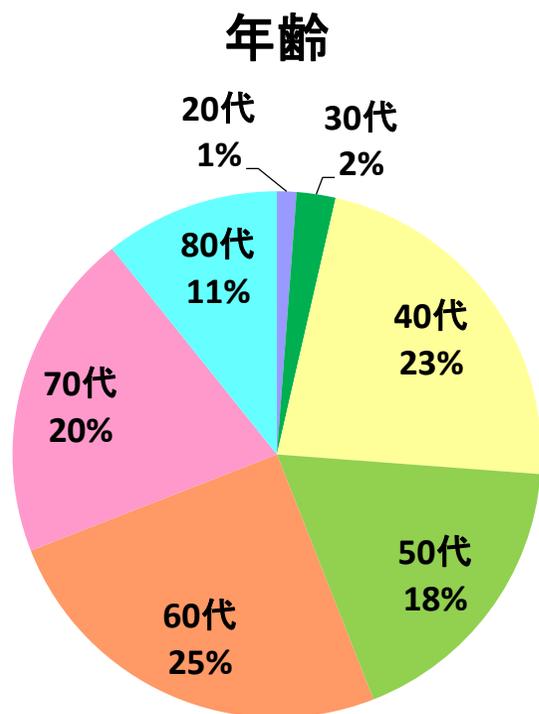
[副作用]	該当なし	該当あり			
		発現時期	グレード1	グレード2	グレード3
記入例	<input type="checkbox"/>	12/24	<input type="checkbox"/> 休息により軽快する疲労	<input checked="" type="checkbox"/> 休息により軽快しない疲労。日常生活に影響はない	<input type="checkbox"/> 休息によって軽快しない疲労。日常生活に影響がある
疲労	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/> 休息により軽快する疲労	<input type="checkbox"/> 休息によって軽快しない疲労。日常生活に影響はない	<input type="checkbox"/> 休息によって軽快しない疲労。日常生活に影響がある
食欲不振	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/> 食欲がない	<input type="checkbox"/> 食べる量が明らかに減少した	<input type="checkbox"/> ほとんど食べることができない
悪心	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/> 吐き気はあるが食べる量が変わらない	<input type="checkbox"/> 吐き気がして食べる量が明らかに減少した	<input type="checkbox"/> 吐き気によりほとんど食べることができない
嘔吐	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/> 24時間あたり1回吐いた	<input type="checkbox"/> 24時間あたり2~5回吐いた	<input type="checkbox"/> 24時間あたり6回以上吐いた
発熱	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/> 38.0~39.0°C	<input type="checkbox"/> 39.1~40.0°C	<input type="checkbox"/> 40.0°C以上が24時間以内
口内炎	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/> 症状は軽い	<input type="checkbox"/> 食事はとれる。痛み・潰瘍があり、食事を工夫すれば食べることが出来る	<input type="checkbox"/> 痛みがあり、食事がとれない
味覚異常	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/> 食事量は減らないが味に変化がある	<input type="checkbox"/> 不快な味や味覚がなくなり、食事量が減った	<input type="checkbox"/>
下痢	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/> 普段の排便回数より3回/日以内の範囲で増加した	<input type="checkbox"/> 普段の排便回数より4~6回/日範囲で増加。日常生活に影響は少ない	<input type="checkbox"/> 普段の排便回数より7回/日以上増加した。日常生活に影響ある
便秘	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/> 時々便秘になり、下剤等を使用する	<input type="checkbox"/> 毎日下剤等を使用する。日常生活に影響はない。	<input type="checkbox"/> 頑固な便秘で病院で処置している。日常生活に影響ある
脱毛	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/> 遠くからではわからないが近くで見るとわかる50%未満の脱毛	<input type="checkbox"/> 他人にも容易にわかる50%以上の脱毛。	<input type="checkbox"/>

← グレード2以上

当てはまる場所に☑



# 2021年 外来化学療法 栄養指導

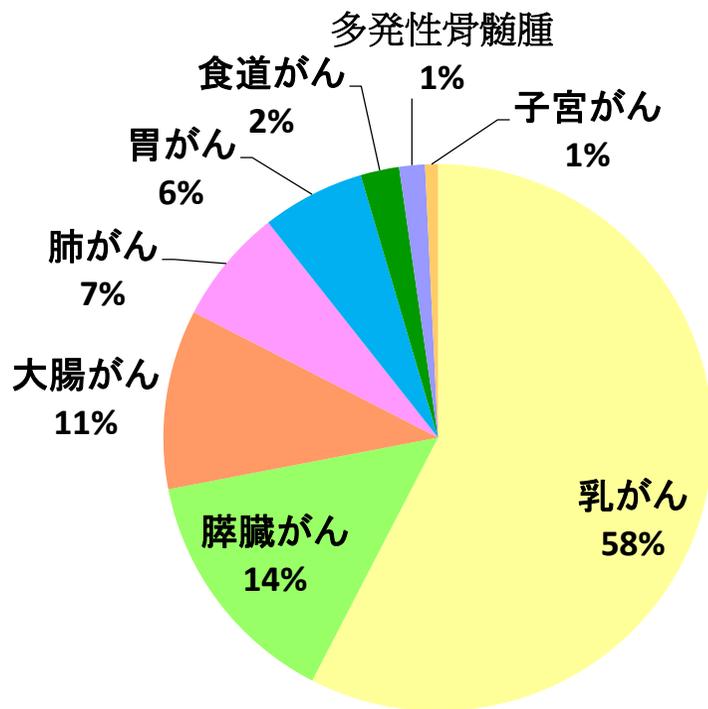


平均年齢 61歳

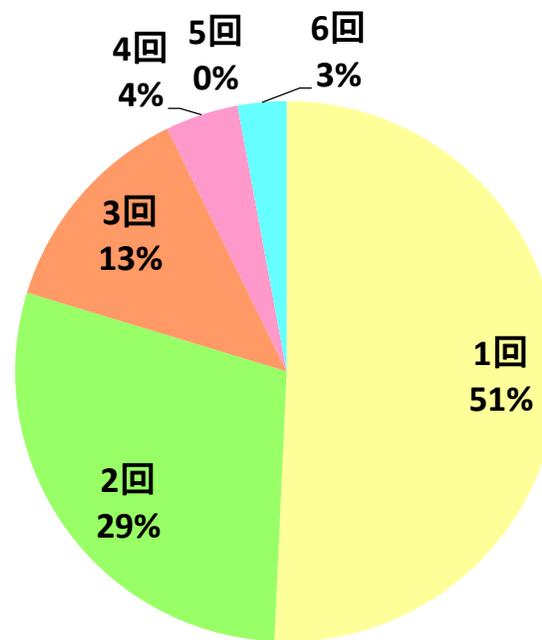
性別 男性30%:女性70%

# 2021年 外来化学療法 栄養指導

## 疾患別

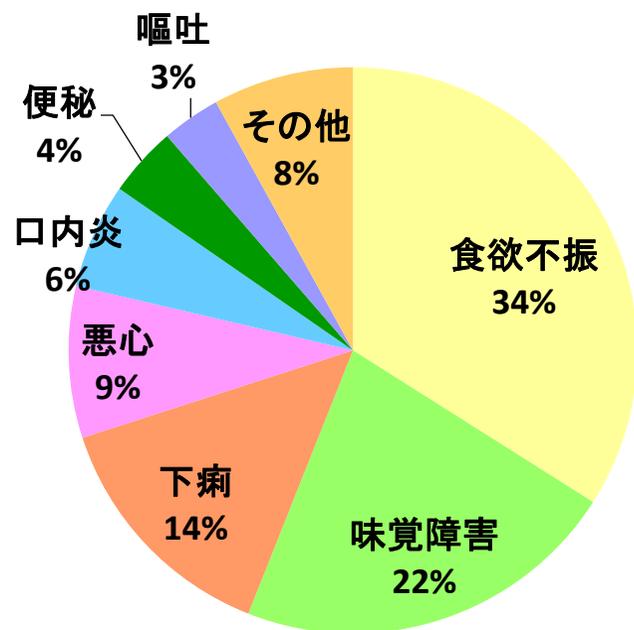


## 介入回数

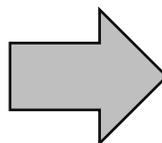
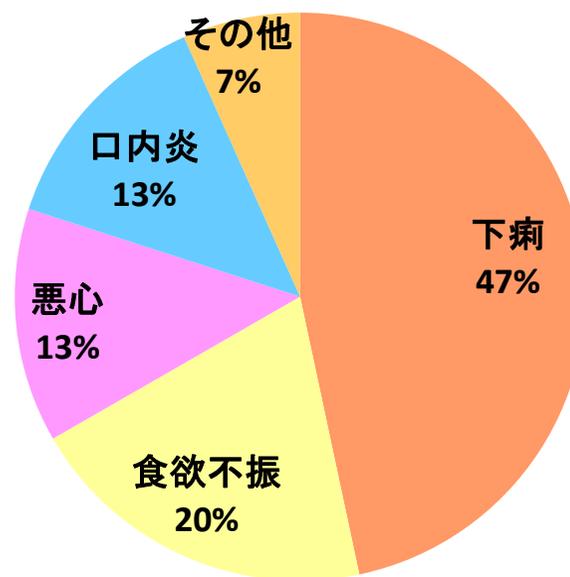


# 2021年 外来化学療法 栄養指導

## 相談内容



## グレード3以上の副作用



- ◆ 多職種が入院から外来へ継続的に介入し、  
副作用と上手に向き合いながら治療を継続した一例◆

## 【症例】

- 50代 男性
- 既往歴 : 糖尿病・脂質異常症
- 現病歴 : 20●●年 血糖コントロール目的入院  
3年後、腹背部痛の訴えがあり精査  
膵体部がん・多発肝転移と診断  
[ cT4N1M1 cStageIVb ]  
[ UGT1A1:6ヘテロ ]
- 治療計画 : CVポート造設後、入院にてmFOLFIRINOXを開始

# 【経過】

- 血液検査所見

WBC 5500/ $\mu$ L HGB 15.0g/dL Alb 4.3g/dL

AST 40U/L ALT 43U/L  $\gamma$ -GTP 177U/L アミラーゼ 36U/L

BUN 20mg/dL Cr 0.64mg/dL HbA1c 8.0% CRP 0.27mg/dl

- 身体所見

身長 161.7cm (標準体重 57.5kg)

3年前の体重 75.1kg 今回の入院時 68.3kg BMI 26

- 栄養評価

栄養状態良好 治療開始前より、2週間で体重1kg減少あり

NRS 6~8/10の持続痛と食後の突出痛あり

# 【経過】

- 入院前の食事摂取状況

一人暮らし・活動量は変化なし

〈朝食〉 コーンフレーク、牛乳、ゆで卵1個

〈昼食〉 コンビニ弁当1個

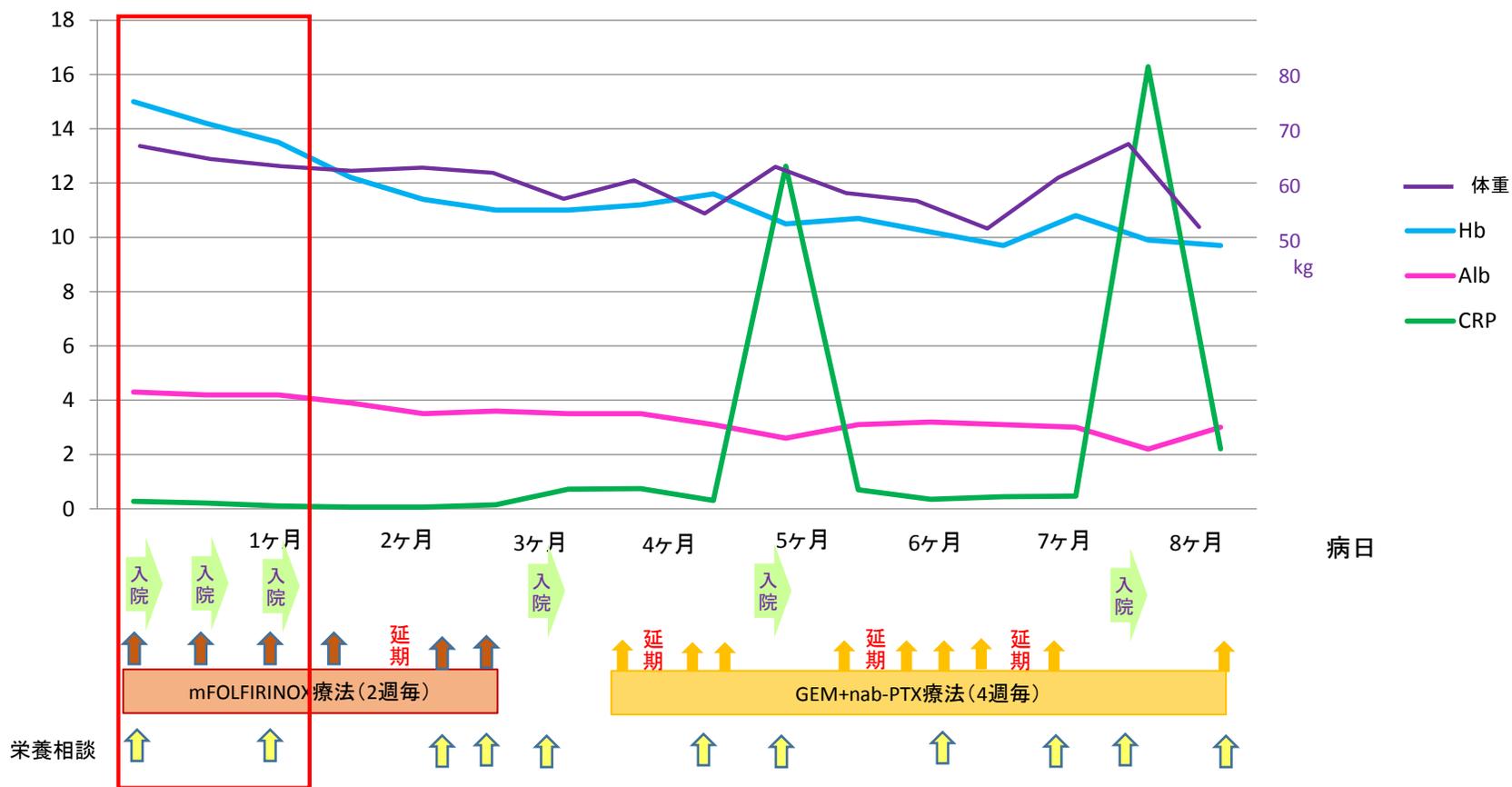
〈夕食〉 米飯1/2膳、惣菜4品（揚げ物、肉料理）

〈間食〉 ジュースはやめて、チョコやせんべいを週3回

- 栄養管理計画

1800kcal(26kcal/kg/日) たんぱく質70g(1.0g/kg/日)

# 【経過】

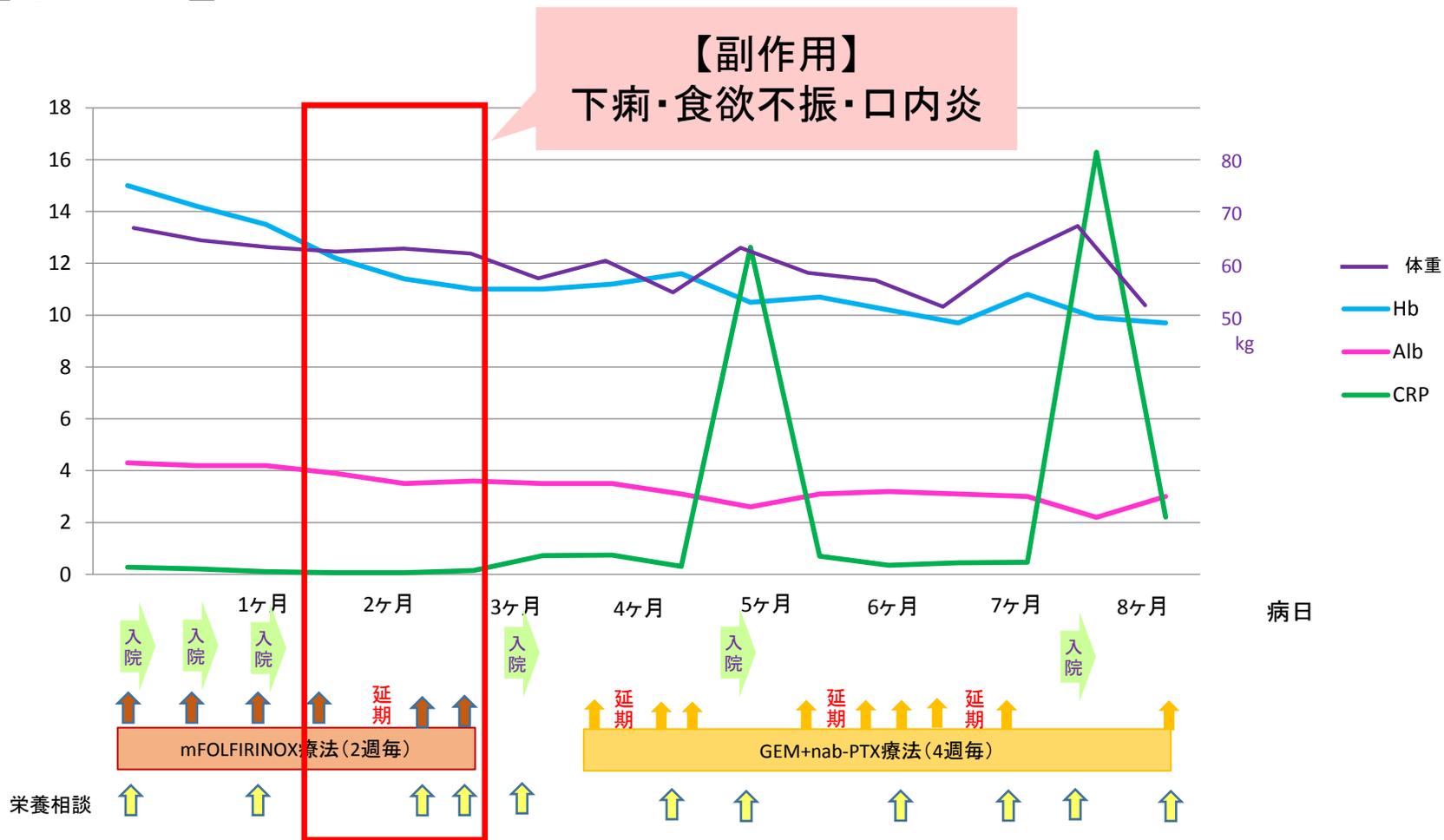


# 【経過】

## 入院中の食事例 脂質制限食



# 【経過】



# 【経過】



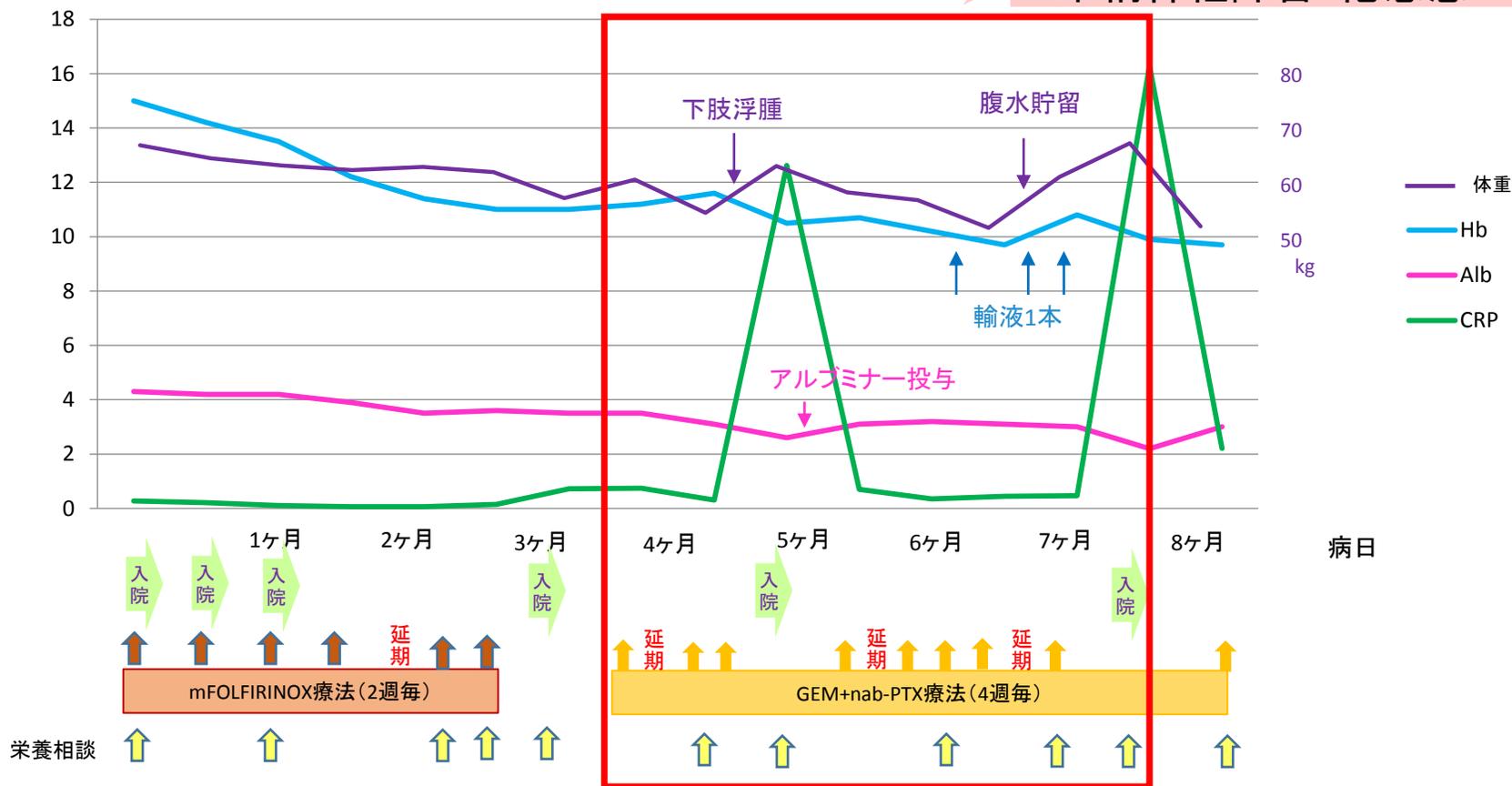
量は少なめに...

辛さ控えめで...



# 【経過】

【副作用】  
下痢・白血球低下・  
末梢神経障害・倦怠感



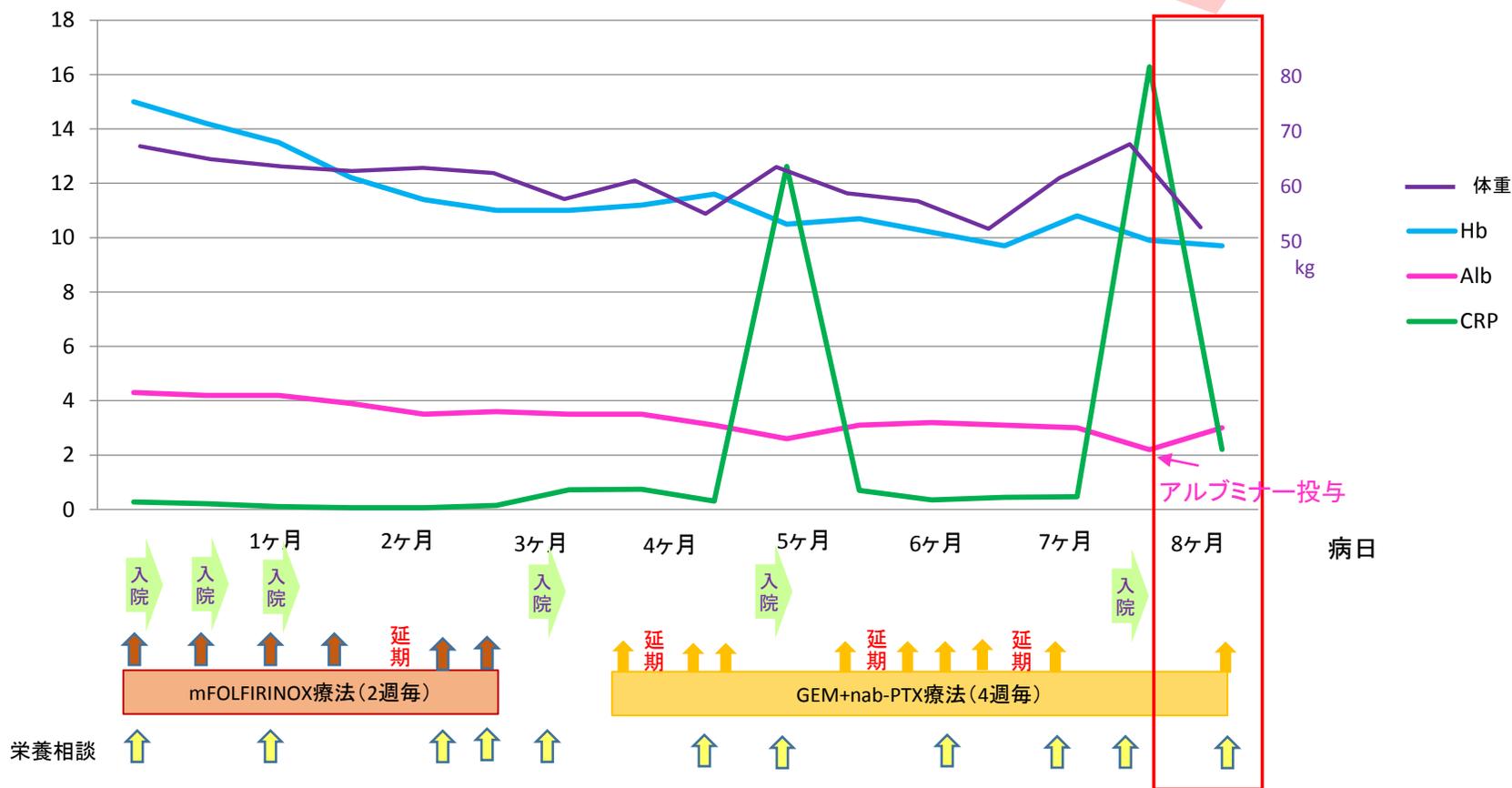
# 【経過】

## 入院中の食事例 低残渣食



# 【経過】

【副作用】  
末梢神経障害



# 【経過】



# 【栄養指導のまとめ】

## 症状に応じた工夫 - 下痢 -

### 対策

- こまめに水分補給を
- 脂質の少ない食事
- 刺激物や不溶性食物繊維は控える

## 【考察】

- 副作用の原因は、様々な要因が考えられるが、多職種が連携し、継続的に介入することで、副作用と上手に向き合うことができた。
- 外来化学療法 of 患者へ栄養指導を介入し始めたことにより、入院から外来へ継続的に栄養管理ができるようになった。
- 患者の幅広い情報を聞き取り、患者個々に合わせてタイムリーに栄養指導を実施する必要があり、患者が抱える身体的、心理的な問題を十分に理解したうえで介入を継続することが重要。

早期から、多職種連携を！



ご清聴ありがとうございました。